

大谷104年ぶり偉業

2桁勝利、2桁本塁打達成

ベーブ・ルース以来

【オークランド共同】米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平(28)が9日、オークランドで行われたアスレチックス戦で投手として10勝目を挙げ、1918年のベーブ・ルース以来、104年ぶりの「2桁勝利、2桁本塁打」を達成した。

昨季は46本塁打、9勝で



アスレチックス戦に「2番・投手兼指名打者」で先発し、投球するエンゼルス・大谷翔平

あと一步届かなかった。今季は7月23日に20号をマーク。投手ではオールスター戦までの前半戦に9勝を挙げたが、後半戦に入り3連敗。4度目の挑戦で、メジャー自己最多の10勝に到達した。

大谷はプロ野球日本ハムで2014年と16年に「ダブル2桁」を記録。エンゼルス入りした18年は22本塁打をマークしたが投手では4勝止まり。同年10月に右肘を手術し、19年は打者に専念。投手での本格復帰は昨年だった。本塁打は20年以外は2桁を達成している。

通算714本塁打で「野球の神様」と呼ばれるルースはレッドソックス時代の1918年に13勝、11本塁打の成績を残した。

詳細はあすの紙面をご覧ください